



GRESS
株式会社グレス

User's Manual
取扱説明書

GRESS ハンマーナイフモア クローラー(GRHM-860)

刈作業を行う際は必ずスロットルレバーを高回転(H)にして
ご使用ください。

不完全燃焼で燃料がマフラーへ入り、**発火**する恐れがございます。



ご使用前に必ずお読みください。

- ・輸送の都合上、前輪プレートを外した状態で出荷しております。到着後組み立てが必要になります。
- ・ハンドルの向きを調整してください。
- ・輸送(運搬時)にボルト類がゆるみますので必ず増し締めしてください。
- ・弊社にて試運転しており、エンジンオイル、ギアオイルは規定量入っておりますが、輸送の都合上ガソリンは抜いた状態で出荷しています。ご使用前にガソリンを規定量入れて各部グリスアップを行い試運転で状態確認後からご使用ください。

**最終ページに問い合わせ先などの
情報を記載しています。
無くさないよう大切に保管してください。**

はじめに

この度はグレスハンマーナイフモア クローラ(GRHM-860)をご購入いただき、誠にありがとうございます。

注意事項

- ・本説明書には使用前の注意事項、部品図、メンテナンスについて重要な説明を記載しています、ご使用前に必ずお読みいただきますようお願いいたします。

保証内容

- ・本機具の保証期間は商品到着日より1ヶ月になります。
 - ・以下に該当する場合は保証対象外になりますのでご注意ください。
弊社では一切の責任（および費用）を負いかねますのでご注意ください。
- 1、本説明書をお読みにならず使用された場合やメンテナンス不備
本来の用途とは異なる目的で使用した場合
 - 2、刃など消耗部品の劣化
 - 3、お客様の整備による不備、過失、分解および改造による不具合
およびそれに起因するけが、事故、損失
 - 4、本説明書に記載のない方法で使用したことによる不具合
 - 5、使用に支障のない塗装ムラ、気泡、キズ、へこみなど
 - 6、故障後、弊社の同意なく修理をおこなった場合
 - 7、故障に伴う経済的損失
 - 8、作業中に本機具が異物（大きな石や岩など）に当たった衝撃で故障した場合

※上記に該当しない不具合につきましては部品交換にて対応いたします。

初期不良 ※ヤフオク落札は対象外となります。

- ・初期不良は商品到着後7日以内に弊社に連絡いただいた場合が対象になります。
- ・初期不良が認められた場合は無償で同品（新品）と交換いたします。
購入品のため、お届けまで数か月かかる場合がございます。

以下に該当する場合に初期不良と認定致します。

- ・開封時に確認できる製造、配送に起因するあきらかな異常
- ・試運転（到着後7日以内）にて見受けられる異常や故障

安全運転のために

- ・事故を未然に防ぎ安全に作業するためにも本説明書の記載事項を必ず守ってください。
守らないと死亡、傷害事故や本機具の故障につながる恐れがあります。

※本機具の連続使用は、機械の故障を防ぐため、最大60分までとしてください。
60分使用した場合は必ず10～15分、本機具を休ませてください。

作業者について

- ・作業時は作業用手袋、安全靴、保護眼鏡などの安全防具を着用してください。
- ・可動部に挟まれると危険ですので、服装はだぶつきのない物を着用してください。

このような場合は使用しないでください

- ・過労、病気、飲酒、妊娠、薬物の影響がある場合、年少者や操作に慣れていない人

※本説明書に記載されている使用方法および注意事項、警告などを
守らなかった場合の損傷や事故、法律違反について弊社は一切の責任を負いません。

グレスハンマーナイフモア クローラについて

- ・つる草やまき草は切れません。ローラーに巻き付いてベルトが切れたり本体が破損するのでつる草やまき草のある場所では作業を行わないでください。
- ・マフラー部分が熱い時、ハンドル上下左右のレバー操作に気をつけてください。(ハンドルの角度によってはワイヤー、ケーブル類がマフラーに接触して溶けてエンジンがかからなくなる恐れがあります。)
- ・作業をおこなう際、周囲の状況、環境に気をつけて作業を行ってください。
- ・本機具の上に人や動物、物などを乗せないでください。
- ・本機具の周りに人(特に子供)を近づけないでください。
- ・本機具の下に入ったり脚を入れたりしないでください。
- ・本機具の整備、燃料などの注入などはエンジンを停止してキーを抜いてから安全な状態(平らな場所)で作業を行なってください。

燃料について

- ・一ヶ月以内で使い切るように調整してください。
- ・一ヶ月以上たった場合はガソリンを交換するようにしてください。(特に屋外保管の場合、ガソリンが劣化して不純物が発生します。不純物が燃料タンク内からキャブレター等にまわって故障、発火のおそれがありますので十分ご注意ください。)

安全確認

※本説明書に記載されている使用方法および注意事項、警告などを守らなかった場合の損傷や事故、法律違反について当方は一切の責任を負いません。

- ・安全のため、余裕を持った操作を心がけ、急発信・急停止・急旋回はしないでください。
- ・仕様変更による部品等の変更で説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・排気ガスによる一酸化炭素中毒になる恐れがあります。屋内など換気が不十分な場所では運転や作業を行わないでください。
- ・雨天時や水たまり等、本機械が大量の水を浴びるような条件での使用は避けてください。
- ・身体に静電気が帯電した状態では作業を行わないでください。気化したガソリンによる引火の可能性があります。やけど・火災につながる恐れがあります。
- ・作業前にボルトの緩み、ベルトの張りなどの点検・整備を行い異常がないことを確認後、作業を行ってください。
- ・ブレードシャフトやベルトなど回転(可動)部分で怪我をする恐れがあるので手・足・髪・服が巻き込まれないように注意してください。
- ・作業後、**毎回エアクリーナー内フィルター(スポンジ、紙フィルター)の清掃(エアブロー)**で粉塵を飛ばしてください。清掃せず使用すると、フィルターが詰まりキャブレター・エンジンにゴミが入ることにより**バックファイヤー・アフターファイヤー**が発生し、本機が動かなくなることがあります。
- ・エンジン始動前にブレードローラーに巻きついた草を除去してください。
- ・燃料タンクの補給は必ずエンジンを停止後、冷めたことを確認してから行ってください。
- ・本機を子供に使わせないでください。
- ・整備を行う場合は、エンジンおよび可動部が停止していることを確認後作業するようにしてください。
- ・作業開始前、必ず周囲の安全を確認してから始動してください。
- ・飛び石や障害物などへの衝突を防ぐため、障害物は取り除いてください。

プレート・ステッカーについて

- ・本体についているプレートには製造時期、製造番号が記載されています。お問い合わせの際、必要になりますので画像もしくはメモをとる等控えておいてください。
- ・ステッカーには注意事項が記載されています。使用方法を遵守してください。

・会社名: 株式会社グレス
・住所: 千葉県市原市金剛地1479-2
・電話番号: 0436-67-1260
・型式 (Model): GRM-860
・製造 (Manufacture Date): 2025.01
・重量 (Net Weight): 225kgs
・製造番号 (Serial No.): SNOJPM-20241223-23

モア本体にこのようなプレートが付けてあります。ご確認ください。

使用前の確認

- ・本機具使用前に以下項目を確認いただき、調整してからご使用ください。
- 1:各部チェック⇒ボルト類は緩みやすいため、ご使用ごとに必ず増し締めしてください。
またカバー類がはずれていないか確認してください。
- 2:燃料⇒出荷時はガソリンを抜いてありますので、必ず給油をしてください。
燃料タンク上部は数センチ空けてください。※（古いガソリンは使用しないでください）
- 3:ギアオイル・エンジンオイル
弊社にて整備時、試運転してギアオイル、エンジンオイルは規定量入ってます。
【各種オイル・燃料について】に交換目安を記載していますので適宜交換を行ってください。
⇒空の状態では始動すると故障の恐れがあります。必ず規定量まで入れてください。
- 4:燃料、各種油漏れについて⇒燃料や各種油が漏れていないか確認してください。
- 5:グリスアップ⇒可動部のグリスアップおよび潤滑油を塗布してください。
- 6:クローラ（キャタピラ）⇒亀裂や破損がないか確認してください。
- 7:ブレードシャフト⇒ゴミ等が挟まったり絡んでいないか確認してください。
刃が劣化していないか、取り付けに緩みがないか確認してください。
- 8:本機具の清掃⇒エンジン周り等にゴミや刈った草が付着していないか確認してください。

保管について

日常保管

燃料コック、チョークをそれぞれ〔閉〕に合わせた状態で保管するようにしてください。

長期保管

バッテリーの接続を外して、エンジンオイルを交換してください。

- 1: 半年から一年以内まで保管の場合
ガソリントankの錆防止のため、ガソリンを規定量まで入れてください。
- 2: 1年以上保管する場合
ガソリンを抜いて、エンジンを始動し停まるまで放置し、ガソリンを完全燃焼させます。
ガソリントankの熱が冷めたら、ガソリントank内に防腐剤を施して保管するようにしてください。



各部名称

GRHM-680の画像を使用しています。



ハンドル方向
切り替えレバー

操作ハンドル



エアクリナー

ガソリタンク

ステップ

クローラ

チョークレバー

エンジンスイッチ

燃料レバー

サーキット
プロテクター

リコイルスターター
ハンドル

アクセルレバー

緊急停止
ボタン

ハンドル高さ
切り替えレバー

左折レバー

エンジンマフラー

右折レバー

刈高調整レバー

ギアシフトレバー

ベルトカバー

ブレードシャフト

クローラ調整ボルト



組み立て

- ・ 輸送（運送）の都合で分解された状態で梱包しております。
必要な工具をご用意いただき組み立ててください。



付属品

付属品: プラグレンチ、エンジンマニュアル
始動キー、シフトレバー

必要な工具:

スパナもしくはソケット、六角レンチ
ソケットがある場合はインパクトドライバー
もしくはソケットレンチ・
ソケットがない場合は
スパナをそれぞれ2本ずつご用意ください。

1: ハンドルの調整

梱包状態の逆向き状態のハンドルを戻します。
ハンドル方向切り替えレバー(1)
ハンドル高さ切り替えレバー(2)を使い
調整しながらハンドルを45~90度ほどまわします。
この時にハンドル取付部がエンジンに接触、
ハンドルに繋がるワイヤーが挟まれることが
無いように気をつけてください。



レバー(2)をおろしたまま
ハンドルを正向きに回転させます。
※ハンドルを回転させる際、画像右側の溝にしっかり
はまるようにレバーで調整してください
※ハンドルが固く動きにくい場合はハンドルを挟みこんでいる
4ヶ所のボルトを緩めるとハンドルが動かしやすくなります。



回転したあとレバー(1)を握ったまま
正面の位置に調整します。



組み立て

2:前輪プレートの取り付け

正面左右のボルトを外して、外した箇所に前輪パイプにある穴の位置をあわせ仮止めします。



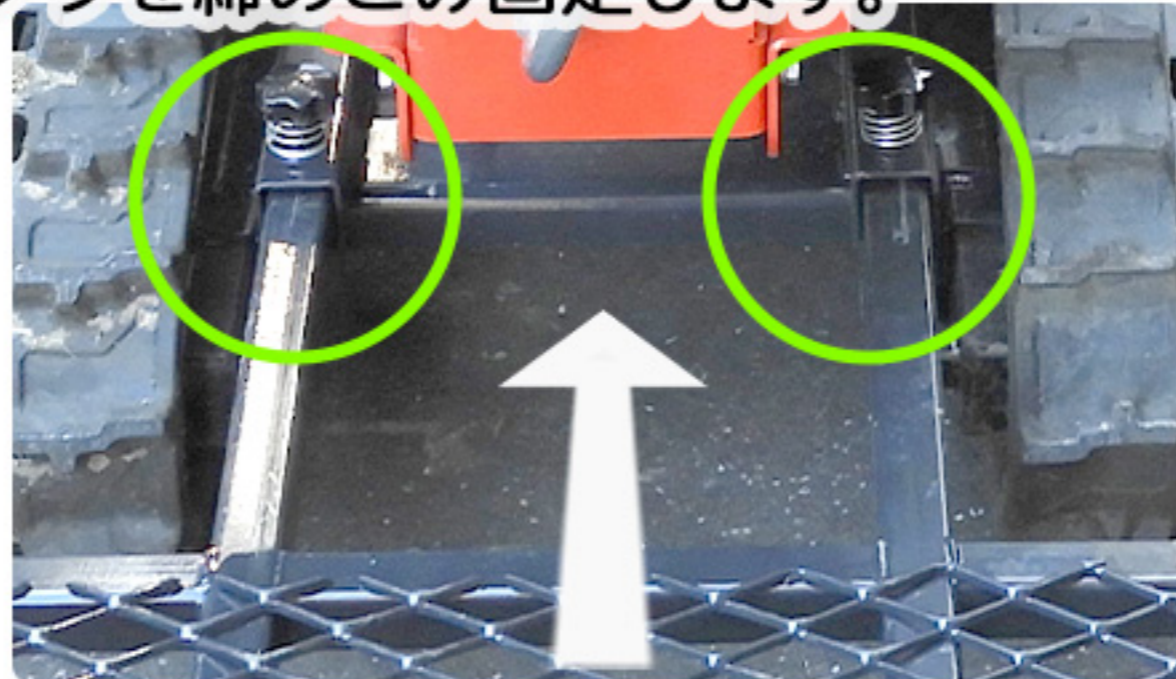
刈高調整レバーの先端に前輪パイプ上部をボルトで取り付けます。レバーの位置があわない場合はレバーをまわして調整してください。取り付けると右下の画像のようになります。



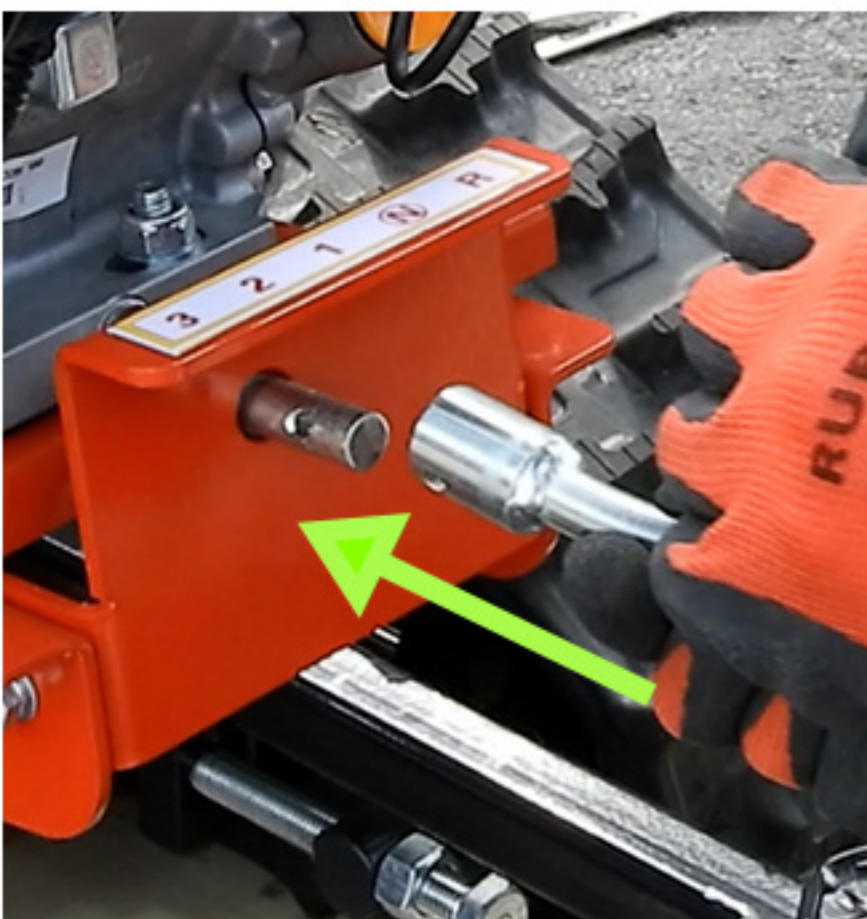
最後に仮止めした左右のボルトを締めこみます。

3:ステップ・シフトレバーの取り付け

ステップをシフトレバー取り付け部の下にある2ヶ所の四角い穴に差し込んでいきます。位置を合わせ穴の上にあるノブを締めこみ固定します。



ステップの上にあるシフトレバー取り付け部に、シフトレバーをあてがいボルトで固定します。最後にシフトが変更できるかレバーを動かし確認してください。



各種オイル・燃料について

・輸送(運送)の都合でガソリンを抜いた状態で出荷しています。
ご使用前に必ずガソリンを規定量まで入れてください。

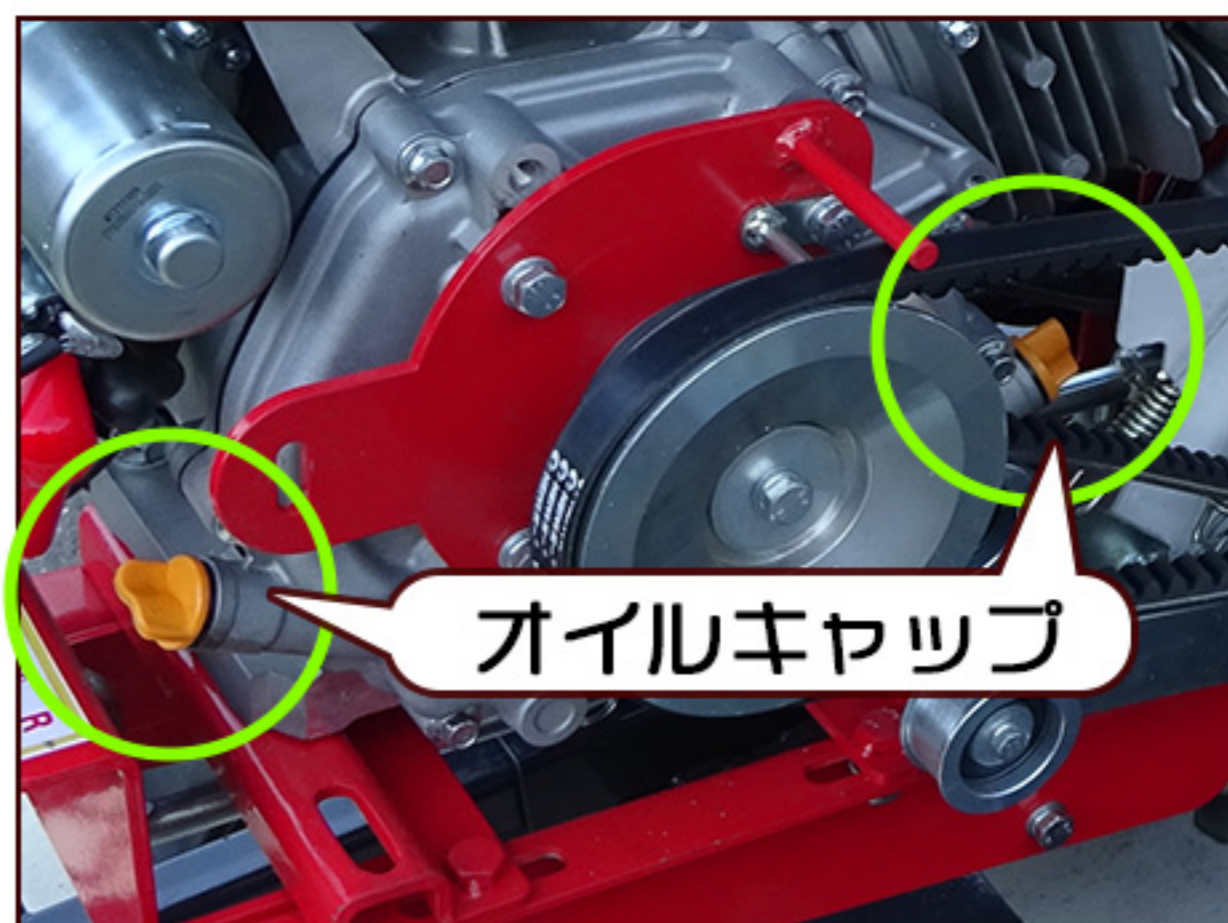
空焚きは故障の原因となります。保証対象外となりますのでご注意ください。

弊社で試運転、整備をしており、エンジンオイル、ギアオイルは規定量入った状態です。
交換目安を参考に適宜交換を行ってください。

エンジンオイル

10W-30/5W-30(1.1L)

注入口:画像の黄色キャップ(レベルゲージ付き)
2ヶ所ありますが、シフトレバー取り付け部上の
注入口の方が入れやすいです。
初回は5時間(慣らし運転)、
それ以降は50時間ごとに交換してください。



注入口の黄色キャップにレベルゲージがついています。

〔H〕直下で保つようにしてください。

オイル交換の際は下に度連ボルトが付いていますが、排出しにくい場所にあるため
注入口よりオイルチェンジャー・オイルシリンダー等で抜いてください。

ギアオイル

80W-90(タンク容量2.2L/適量1.2L)

注入口:下画像右の灰色キャップ

バッテリーボックスが付いているプレートを外すとギアボックスがあります。

初回は20時間(慣らし)、それ以降は100時間ごとに交換してください。

※1.2L以上いれると給油口よりオイルが噴き出すことがありますのでご注意ください。

万が一噴き出した場合はギアボックスまわりを灯油で拭いて掃除してください。

(パーツクリーナー等では落とさず、ギアボックス下からオイルがたれることがあります。)



燃料・レギュラーガソリン

(タンク容量6.5L)

注入口:エンジン上タンクのキャップ

タンク内部の赤いゲージまで入れてください。赤いゲージより上に入れしないでください。



**※密閉型のタンクでは
ありません。
キャップから気化した
燃料が出ています。
ゲージより上に燃料が
入っていると
本体が傾くと燃料が
こぼれることがあります。
ご注意ください。**



バッテリーについて



バッテリーボックス



バッテリーボックス横のスイッチ

ON → 通電状態
OFF → 通電オフ
OUT → メンテナンス



バッテリーボックス開封状態

【セルスターターを使用する場合】

- ・初回使用前に必ずバッテリーを充電してください。
- ・バッテリーボックス横のスイッチをOUTに合わせてください。
(バッテリーボックスの蓋を外して、12Vバイクバッテリー充電器等で充電してください。)
- ・バッテリーが充電されていないとセルスターターが起動できません。

※リコイルスターターはバッテリーがなくても使用可能です。

※リコイルスターターを使用する場合はバッテリーボックス横のスイッチをONにしてからリコイルスターターの持ち手を引っ張ってエンジンを始動してください。

毎年の使用開始前に一度充電してください。

セルのかかりが悪くなった場合についても、充電によって解消できることがあります。

エンジン始動方法

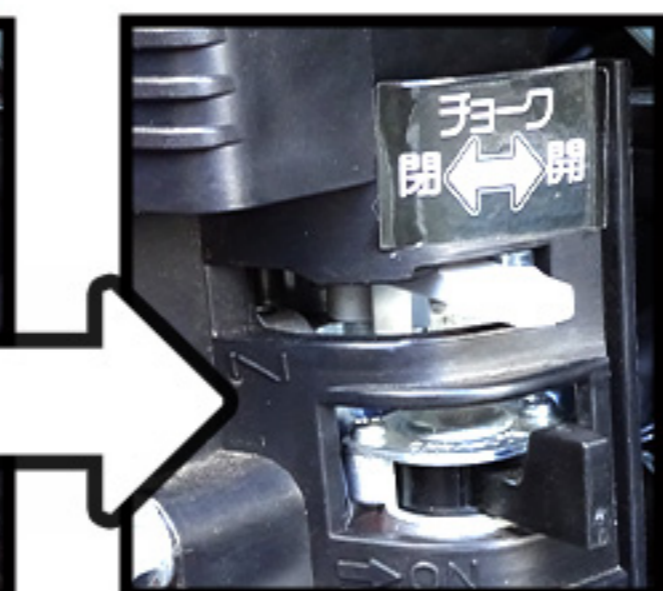


緊急停止ボタンが押されているとエンジンがかかりません。

チョークレバー



燃料レバー



両方のレバーを右へ

緊急停止ボタンが押されていないことを確認して燃料コック(黒レバー)とチョーク(灰色レバー)を右に開けます。スロットルはスタート位置(一番右側)にあわせてください。
※チョークは初回始動時などエンジンが温まっていない状態では全開にしてください。



スロットルレバー

エンジンの回転数はスロットルで調整します。低回転→H高回転になります。
刈作業時はスロットルを高回転にして使用してください。
※低回転では不完全燃焼でガソリンがシリンダーからマフラーへまわって発火の恐れがあります。

セルスタート

付属のキーをエンジンスイッチに差し込み [START] までキーをまわすとエンジンが始動します。



エンジンスイッチ

リコイルスタート

付属のキーをエンジンスイッチに差し込み [ON] までキーを回しハンドルを引っ張ることでエンジンが始動します。



リコイルスターターハンドル

ハンドルを勢いよく引いてください。

※チョーク全開の状態で使用するとプラグかぶりの原因となります。
エンジン始動後は必ずチョークを [閉] から右に1cm程度の位置まで戻してください。

エンジン停止

エンジンスイッチのキーを [OFF] に戻します。
エンジンが停止したら燃料コック・チョークを
[閉] の位置に合わせてください。



緊急停止ボタン



緊急停止ボタンを押すことによって
エンジンを停止することもできます。
その後エンジン停止作業をおこない
ボタンを戻してください。

サーキットプロテクタ

エンジンスイッチ下にサーキットプロテクタがついています。
一定以上の過負荷がかかった時に電流を遮断し
回路やデバイスを過電流から守る装置です。
通常時はスイッチが [ON]
遮断時はスイッチが [OFF] になります。
遮断時はスイッチを押し込むことで [ON] になります。
※スイッチが [OFF] の状態ではエンジンを始動できません。
ご注意ください



走行

エンジン始動後、チョークレバーを [閉] から右に1cm程度に合わせます。
シフトレバーを [N] から [1] にスライドします。

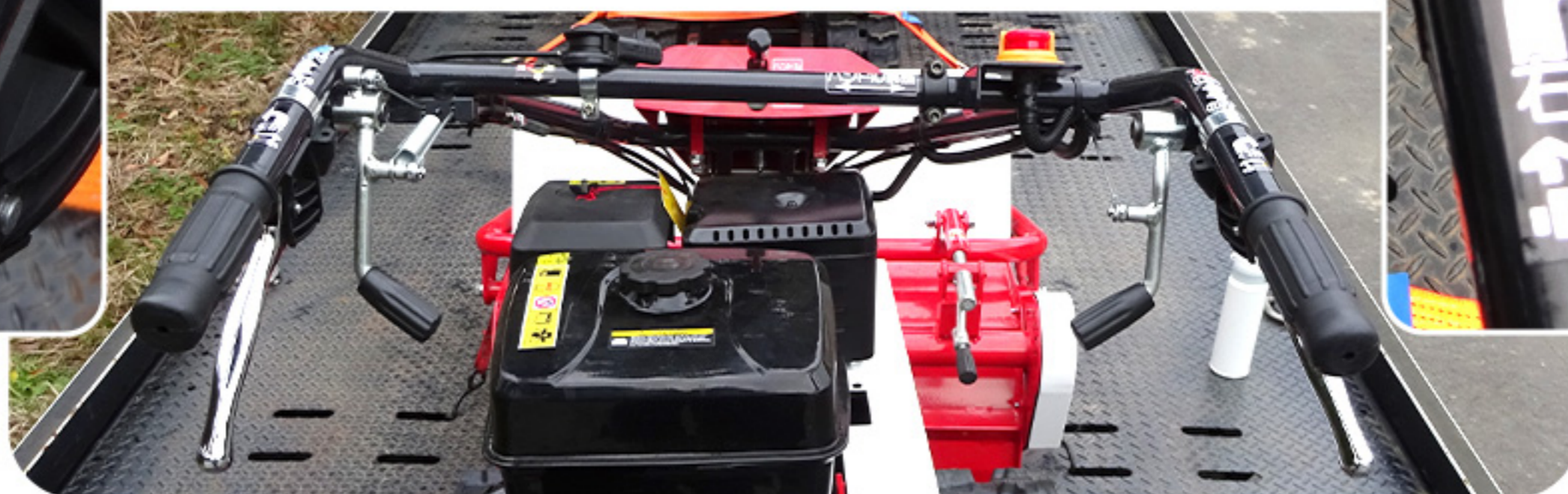
※シフトレバーは左から [3速] [2速] [1速] [N (ニュートラル)] [R (後進)] です。
左ハンドルにある走行レバーをあげて [ON] に入ると動き出します。
停止は走行レバーを下げて [off] に入れてください。



左右方向転換

走行中に左右に曲がる時は、左右ハンドル下のレバーを握ることで方向が変更されます。

左レバー左折、右レバー右折になります。



クローラ

走行時の注意点

クローラはゴム製のため次の点に注意して取り扱いください。

- ・必ずステップに乗って走行してください。
- ・急激な方向転換や加速をしない。急発進や加減速ショックで操作姿勢が不安定になりクローラの損傷の原因にもなります。
- ・不整地はできるだけ低速走行をおこなってください。
地形によってはバランスを崩し機械の損傷や運転上の事故の原因にもなります。
- ・障害物の乗り越えはできるだけ避けるようにしてください。
やむをえず乗り越える場合はできるだけ低速で走行してください。

走行、旋回を避ける場所

- ・凸凹の多い岩盤、鉄筋などの上 → 摩耗が激しく損傷の原因となります。
- ・多量に大小の石がある場所 → 石が噛みこみ損傷、脱輪しやすくなります。
- ・油などが溜まっている場所 → ゴムが劣化し損傷の原因となります。
- ・海岸などでの使用を避けましょう → 塩分によってクローラのパーツが浸食されます。

クローラ外れの要因

- クローラの張りが緩いと障害物を乗り越える時などホイールとクローラの間ですき間ができるので外れやすくなります、ので適切な張り状態を維持してください。
- 段差乗り越え時旋回を避けてください。できるだけ段差に対して直角であるのが望ましいです。
- 片輪上げ走行をおこなわない。
斜面または凸地に片輪を上げ反対側が平坦な場所での使用を避けてください。
旋回時にクローラが外れやすくなる可能性があります。
- 登りながらの旋回を避けてください。
どうしても必要な場合はゆっくり大きく旋回をおこなってください。

クローラの張り調整

作業時に常に良い状態を維持するためにも、クローラの張りを調整してください。



ロックナット

調整ボルト

左側のクローラの調整です。
右側も同様におこなってください。

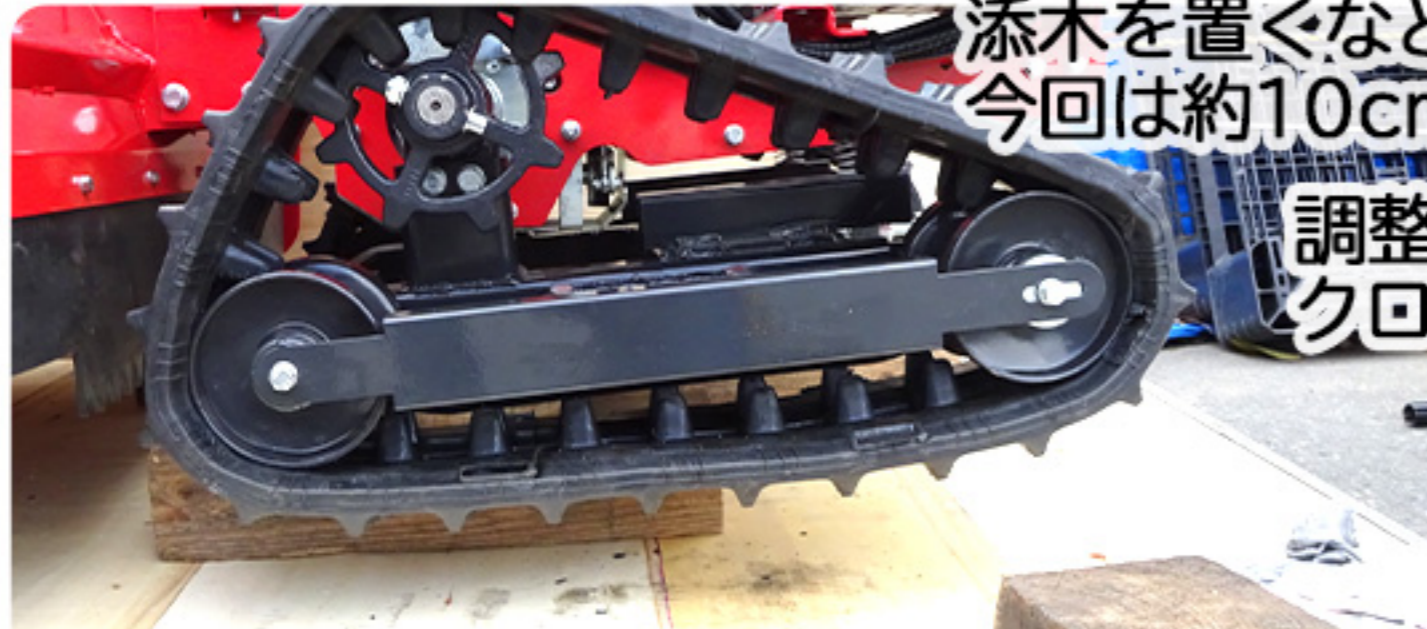
- 1・クローラ後輪側にあるホイールを留めであるボルトを緩めます。
- 2・ステップ隣にある調整ボルトのロックナットを緩めクローラの張りを調整します。
- 3・張りの強さは上下約10~20mmくらいで調整して、調整後運転しクローラの状態を確認して調整をおこなってください。



クローラの取り外し

クローラもメンテナンスをおこなうことで状態の確認や故障を予防することができます。
大きな修理や不具合を避けるためにできる範囲でチェックをおこなってください。

ハンマーナイフモア本体を、車のジャッキ等を使い持ち上げます。
添木を置くなどして安全に作業がおこなえるようにしてください。
今回は約10cmほど上げて作業をおこなっています。



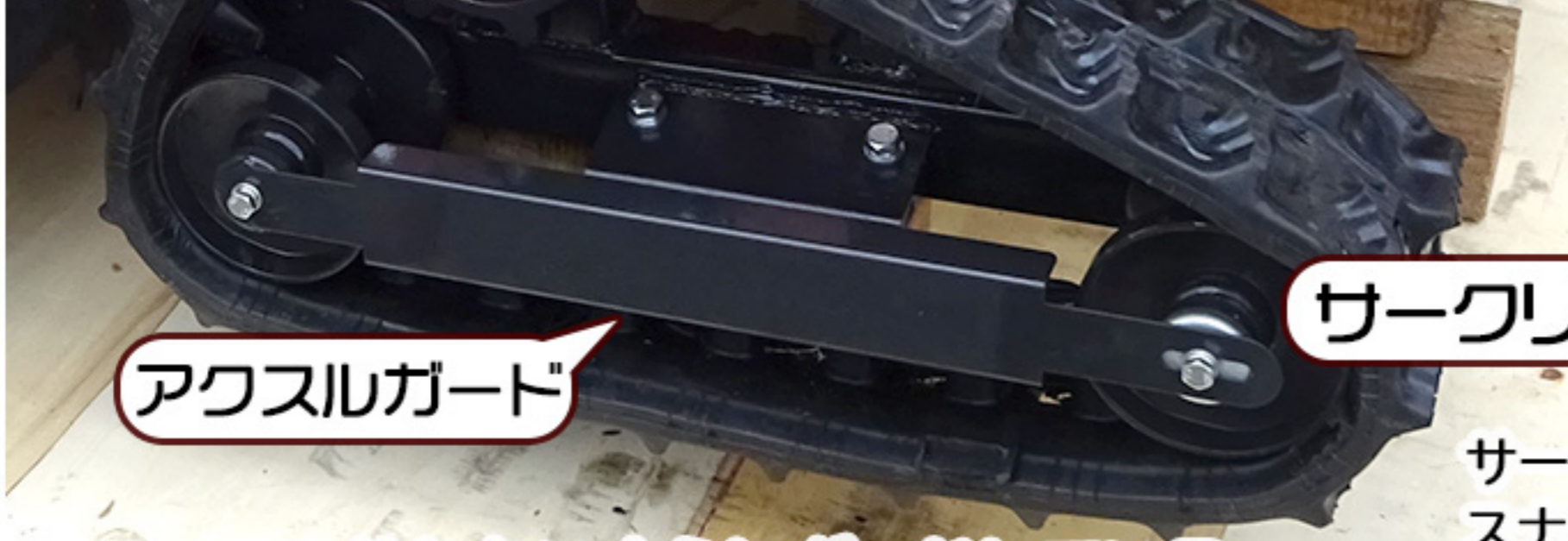
調整ボルトのロックナットを緩め、調整ボルトを緩めてクローラの張りを弱くします。

調整ボルト

ロックナット



クローラ横のホイールを留めてあるネジを外します。
前輪、後輪側、両方はずすとアクスルガードも外れます。
前後ホイールを固定しているサークリップを外し
とめてある金具類を全て外します。



アクスルガード

サークリップ

スナッピングプライヤー



サークリップを外すには
スナッピングプライヤーが必要です

クローラを外れないようにガードしている
ローラーガードプレートを取り外します。

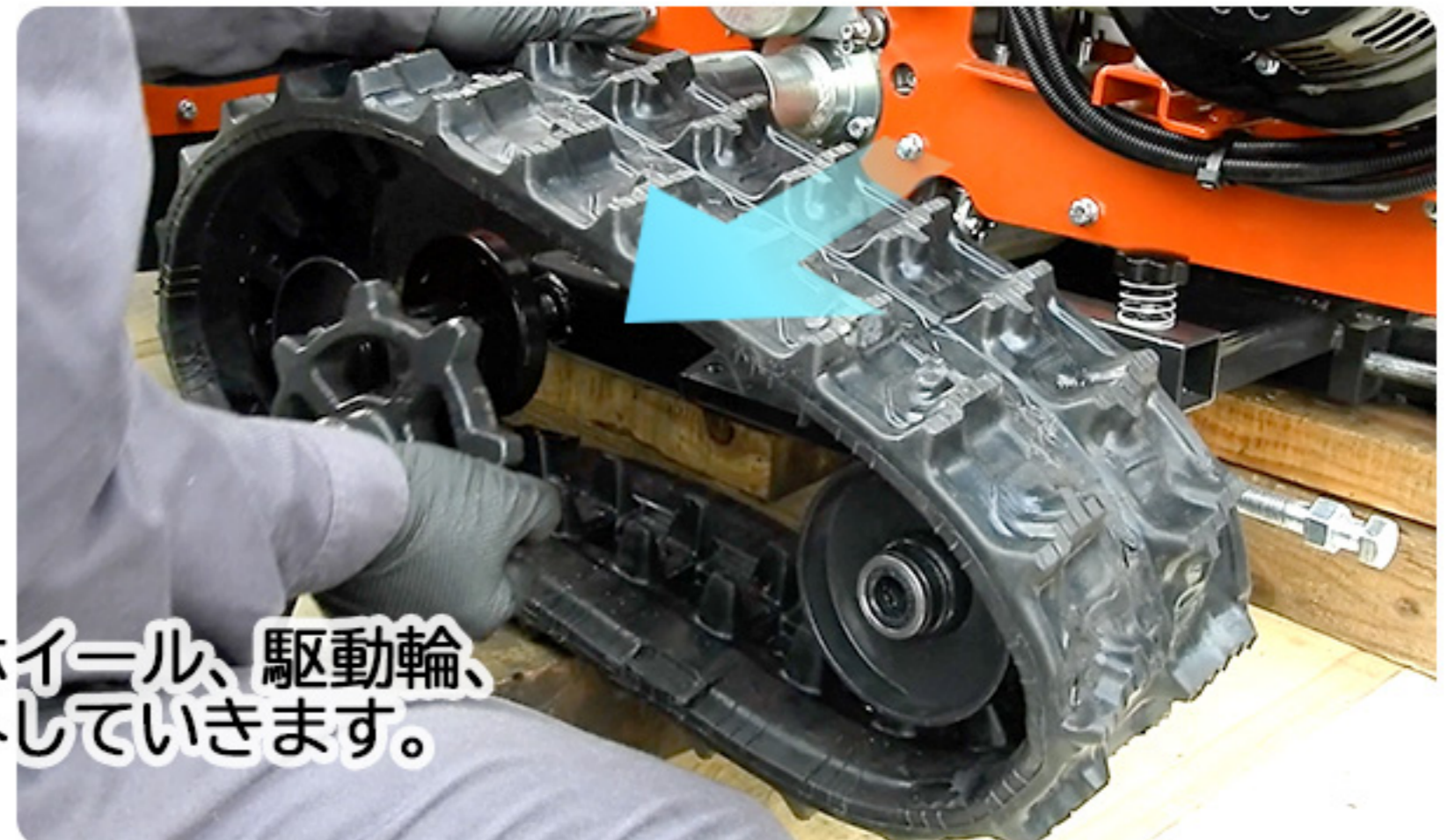


ローラーガードプレート

駆動輪をとめてあるインサートナット
ボルトをはずします。



クローラ上部をたわませるために
下部に添木を置きます。



軸にそってホイール、駆動輪、
クローラを外していきます。

取り外し完了しました。
クローラ周辺パーツの状態をチェックして
異常や汚れがあれば対応してください。



クローラの取り付け

ハンマーナイフモア本体を車のジャッキ等を使い持ち上げます。
添木を置くなどして安全に作業がおこなえるようにしてください。



ホイール

添木

下部に添木をおいて、クローラ上部をたわませるようにします。
前後ホイールをクローラの窪みにあわせて
乗せて本体の軸に合わせていれていきます。

駆動部の軸が入るまで進めたら
駆動輪を向きに気をつけて軸に合わせて入れます。
駆動輪がクローラにはまったら
その状態で止まるまで押し込みます。



駆動輪

前後両方のホイールをワッシャ
サークリップを取り付け固定します。



サークリップをとめるには
スナッピングプライヤーが必要です



スナッピングプライヤー

添木を外し
駆動輪にインサートナット
ボルトを取り付け固定します。



調整ボルトでクローラをひっぱり
ホイール間のスペースを作り
ローラーガードプレートを
取り付けます。



ローラーガードプレート

アクスルガードを取り付けます。
後輪側のホイールはクローラの張りを調整後
本締めするので仮止めしておきます。



アクスルガード

調整ボルトでクローラの張りを調整して
ロックナットと後輪側ホイールのボルトを
固定して作業完了です。



調整ボルト

試運転して調整、確認してください。
お疲れさまでした。

草刈り

エンジン始動後、チョークレバーを〔閉〕から右に1cm程度に合わせます。
右ハンドルにある刈り込みレバーをあげて〔ON〕に入れるとブレードシャフトが回転します。
回転速度および走行速度はスロットルで調整してください。
停止は走行レバーを下げて停止してから刈り込みレバーを下げて〔off〕停止してください。

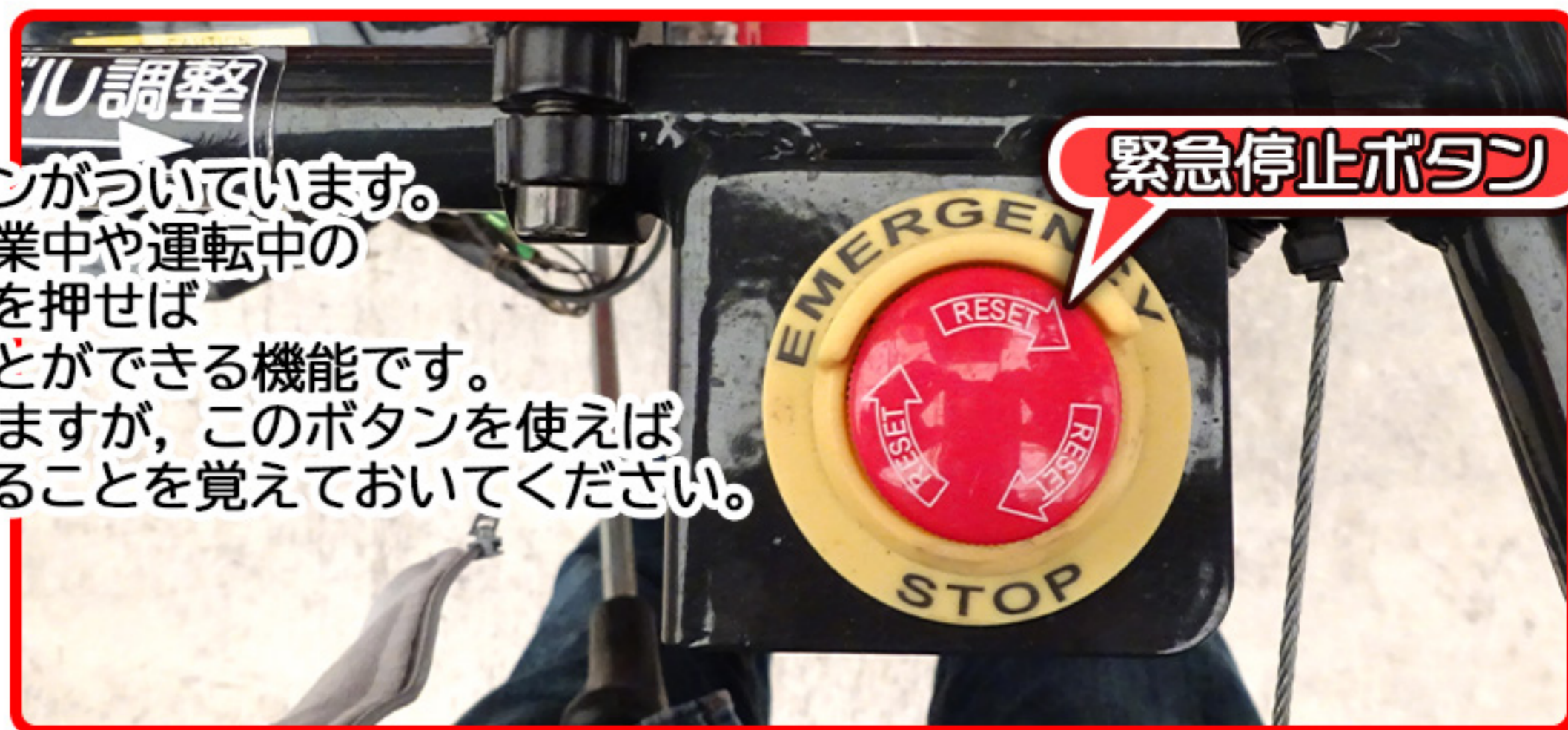


刈作業時はスロットルを高回転にして使用してください。
※低回転では不完全燃焼でガソリンがシリンダーからマフラーへまわって発火の恐れがあります。



緊急停止ボタン

ハンドル右側に大きな赤いボタンがついています。緊急停止ボタンです。草刈り作業中や運転中の突然のトラブル時にこのボタンを押せばエンジンを強制的に停止することができる機能です。通常操作時にも便利に利用できますが、このボタンを使えばエンジンを停止することができることを覚えておいてください。



ボタンを押すことでエンジンが停止します



点検

エアクリナー

前面から見て右のエアクリナーのカバーを外します。

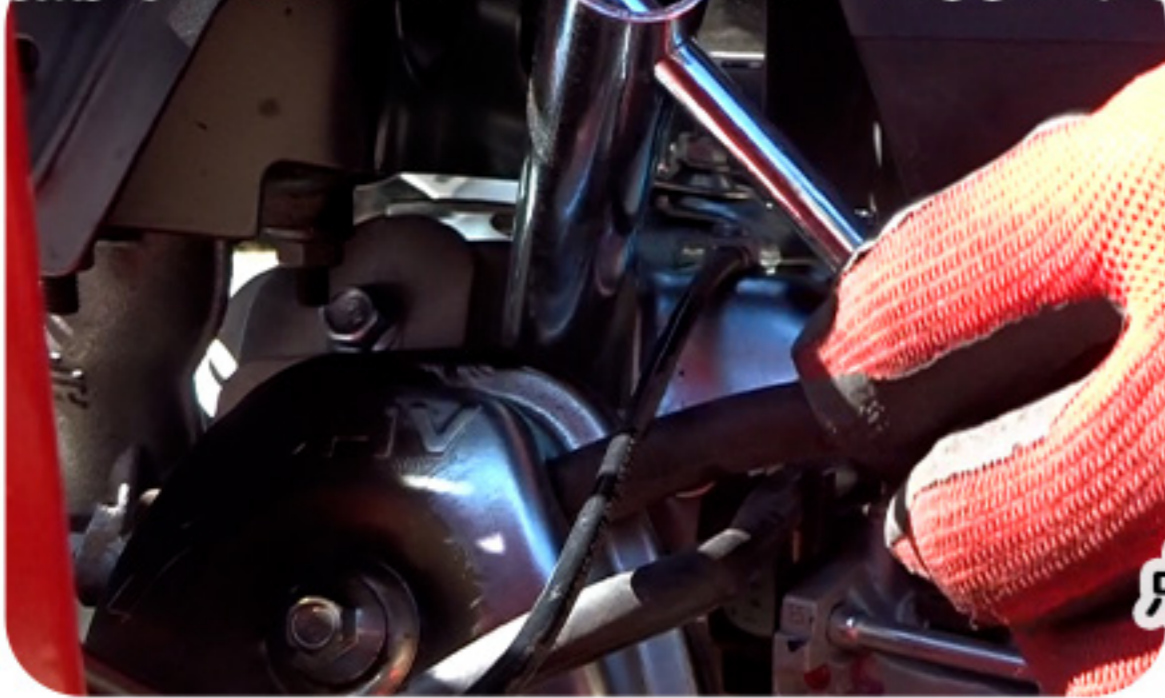
作業後、毎回エアクリナーのフィルター（スポンジ、紙フィルター）の清掃（エアブロー）で粉塵を飛ばしてください。清掃せずに使用するとフィルターが詰まってキャブレター・エンジンにゴミが入ることによりバックファイヤー・アフターファイヤーが発生し本機が動かなくなることがあります。

作業を行う場所はフィルターが詰まりやすい場所になりますので注意してください。

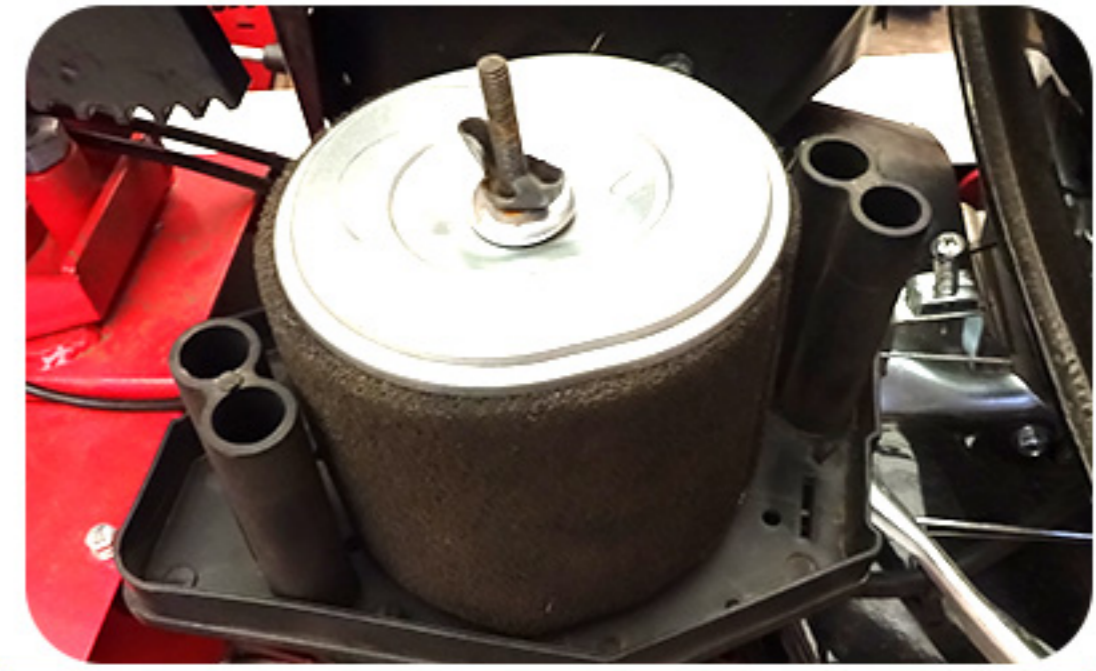
フィルターの清掃を行わず、発生した故障・事故に関しては弊社は責任を負いません あらかじめご了承ください。

点火プラグ

前面から見て右のエアクリナーをすべて外します。点火プラグのプラグカバーを外し、付属のプラグレンチで点火プラグを外します。



点火プラグの先(電極)に付いたカーボンをナイロンブラシで掃除してください。プラグが劣化している場合は新しいプラグに交換してください。



スロットルケーブル

スロットルレバーについているケーブルですが、使用しているうちに緩むことがあります。

- ・今までと同じスロットル操作をしても、感覚が違う
- ・スロットルを動かしても回転数が変化しない。
- ・スロットルからワイヤーがはみ出している。

などの症状がではじめた時、早めのケーブル調整をお勧めしています。ケーブルが緩むと回転数の調整ができなくなってしまう。

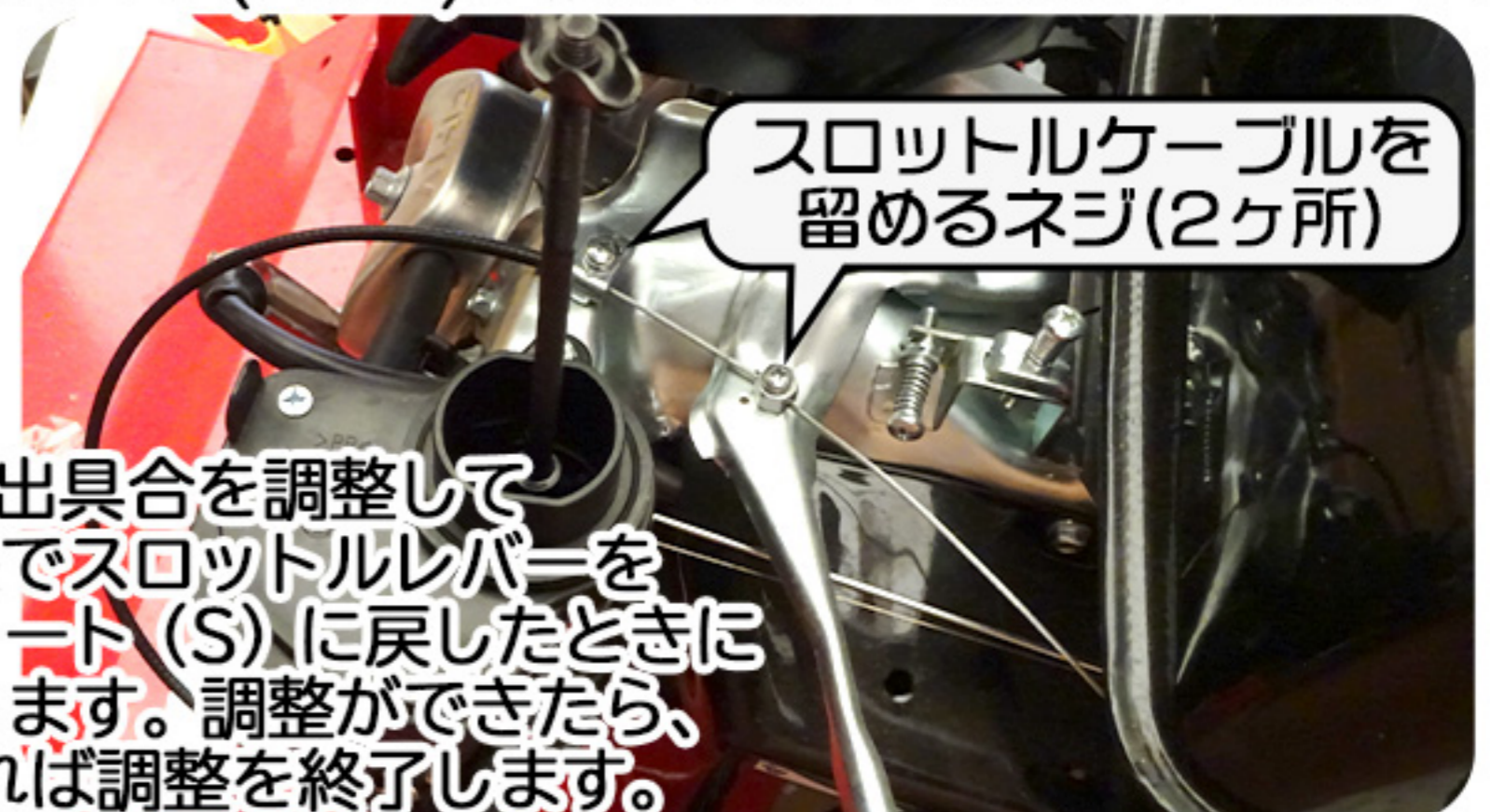
スロットル・ケーブル



スロットルケーブルの調整

1 エアクリナーをケースごと外します。

2 エアクリナー（ケース）を外すとスロットルのケーブル（ワイヤー）が見えます。留めてあるネジ(2ヶ所)が緩んでないか確認してください。



3 ネジが緩んでいる場合はワイヤーの出具合を調整してネジを締めください。エンジンを切った状態でスロットルレバーを高回転（H）まで動かしスロットルレバーがスタート（S）に戻したときにワイヤーが余りなく戻る状態が通常状態になります。調整ができれば、エンジンを始動してチェックし、問題がなければ調整を終了します。

定期点検票

いつも安全な状態で作業をおこなえるように、
この定期点検表を活用して点検をおこなってください。
点検や整備を怠ると事故や故障の原因になる場合があります。

点検項目		チェック項目と点検内容		点検頻度
エンジン	エンジン 本体	かかり具合、異音の発生	始動の際、問題ないか？	作業前
		回転数と加速	回転をあげてなめらかに回転するか？	作業前
		排気・ガス漏れ	排気臭、排気音は正常か？	作業前
		エアクリナーの状態	取付部分の緩み・損傷や汚れがあるか？	作業前
		シリンダーヘッド・各締付箇所	ガス漏れや亀裂、腐食の確認	年に数回
		エンジンまわりの亀裂変形	エンジンに亀裂や変形などの症状	作業前
		各ボルト・ナットのゆるみ	ボルト・ナットに緩みがあるか？	作業前
	オイル	油量・汚れ	オイル量は適切か？汚れや混入はあるか？	作業前
		油漏れ	オイルシール・ガスケットに漏れがあるか？	作業前
	燃料関係	燃料漏れ	燃料の漏れはないか？	作業前
		燃料フィルタの詰まり	目立つ汚れ、変形、目詰まりはあるか？	毎月
		燃料の量・燃料の質	燃料は入っているか？古いガソリンか？	作業前
	バッテリー	バッテリー接続部の緩み	接続部分に緩みや損傷の確認	毎月
		配線の損傷	配線部分の汚れや配線の痛み	毎月
	空気清浄	エアクリナーの汚れ・破損	エアクリナーとフィルターの掃除、破損の確認	作業前
冷却関係	リコイルカバーの目詰まり	リコイルカバー等が草で詰まってないか？	作業前	
	マフラー部への草の堆積	草が堆積していないか？	作業前	
動力伝達装置	ベルト	緩み	ベルトの張り具合は適切になっているか？	作業前
		損傷・汚れ	亀裂や汚れ損傷のチェック	毎月
	ミッション	異音・以上発熱	作動に問題ないか？異音や発熱はないか？	毎月
		油量・汚れ	オイル量は適切か？汚れや混入はあるか？	年に数回
		油漏れ	オイルシール・パッキン等に漏れはないか？	作業前
車体	ボディカバー	亀裂・変形・腐食	フレームの亀裂、変形があるか？	毎月
		取付ボルト・ナットの緩み・脱落	ボルト・ナットの緩み、脱落のチェック	毎月
レバー	レバーワイヤー	レバー・ワイヤーの損傷、緩み ガタつき、割ピンの欠損	作動確認、取付状態、損傷や痛み がたつきや脱落のチェック	年に数回
走行	クローラ タイヤ	亀裂、損傷	亀裂、損傷、摩耗はないか？	作業前
		ボルト・ナットの緩み、脱落	ボルト・ナットの緩み、脱落はないか	作業前
		異音・ガタつく	取り付け部に異音、ガタつきはないか	毎月
刃	刃 シャフト	刃の欠損・曲がり・摩耗	刃の欠損、曲がり、摩耗のチェック	異常時
		ブレードシャフトの異音や振動	シャフトの曲がり、刃が欠けてないか？	年に数回

困ったときは

主に起きやすい原因と対処法を一覧にしています。
他の原因が発生したときはお問い合わせください。

起こった事	可能性のある原因	処置方法
エンジンがかからない…	燃料コック・チョークが 〔閉〕になっている。	〔開〕にあわせる。
	プラグカバーが外れている	プラグカバーを被せる。
	点火プラグの劣化	点火プラグを交換する。
	燃料が少ない、入っていない	ガソリンを補充する。
	エアクリナーが汚れている	エアクリナーとフィルターを掃除する
ベルトが滑る…	ベルトの張りが弱い	ブレードシャフト左右の ベアリングの高さを調整する
	ブレードシャフトに ごみが付着している	ごみを取り除く。
	プーリーにゴミが付着している	プーリーを掃除する
	ベルトの摩耗	ベルトを交換する。
変速ギアがきかない…	ギア的位置がずれている	変速レバーを取り付けなおす
	ギアの不具合	ギアの修理をご依頼ください
草の刈り残しがある…	回転速度が速い	スロットルを低回転にする。
	回転速度が遅い	スロットルを高回転にする。
	刃の摩耗・刃損	刃を交換する。
	刈高が高すぎる	刈高を下げる
	刈った草がカバー内にたまる	空回し、もしくはカバー内面を掃除する
普段より振動が大きい…	ブレードシャフトの変形	ブレードシャフトを交換する
	刃の摩耗・刃損	新しい刃と交換する。
	ベルトの破損	新しいベルトに交換する。
	ブレードシャフトに草等 ゴミが付着している	巻きついているものを 取り除く（掃除する）。
普段より刈り取り作業の 効率がよくない…	エンジン回転が低い	エンジン回転数をあげてみる
	作業速度が早く感じる	作業速度を落としてみる。
	刃のシャフト周りに草が たまったり巻きついている。	刃とシャフトまわりを綺麗に掃除する
	草が長い	刈高を調整して、2回刈作業をおこなう。
作業中にオイルまたは 栓がとびだす	ミッションオイルの入れすぎ (内圧過上昇)	正規のオイル量に調整する。

エンジンの不調

エンジンの不調かな?と思ったときこの表で診断して、適切に処置をおこない不調のまま作業を行わないようにしてください。

起こった事	可能性のある原因	処置方法
エンジンがかからない…	エンジンスイッチのキーがONになっていない	エンジンスイッチをONの位置にする。
	チョークレバーを引いていない	エンジンを冷却後チョークレバーを引く
	燃料が流れない	燃料タンクとキャブレターを点検して中にある不純物や水分を除去する
	燃料コックが閉じている	燃料コックを開く
	寒い時にエンジンの回転が重い	オイルの粘度を状況に合わせて使い分ける
	点火プラグの不調	プラグの電極の隙間を点検、調整する または、新品のプラグと交換する
	セルスイッチが回らない	バッテリーケーブルの損傷、接続の確認 バッテリーの充電容量の確認
エンジンの出力不足…	燃料不足	ガソリンを補給する
	古い燃料を使っている	新しい燃料と交換する
	エアクリナーの汚れ、詰まり	エアクリナー廻りとフィルターの掃除
	冷却系統の目詰まり	リコイルスターター周辺を掃除する
突然エンジンが止まる	燃料不足	ガソリンを補給する
	燃料コックが閉じている	燃料コックを開く
作業中しばらくするとエンジンが止まってしまう	点火コイルの不良	点火コイルを交換する
	燃料フィルタの目詰まり	燃料フィルタを掃除する
排気に刺激臭がある	燃料の劣化	新しいガソリンと交換する。
	古い燃料を使っている	新しいガソリンと交換する。
マフラーから黒煙がでて出力が低下する	エアクリナーの目詰まり	エアクリナー廻りとフィルターの掃除
	チョークが完全に開いていない	チョークレバーを調整する
マフラーから白煙が出る	エンジンオイルを入れすぎている	エンジンオイルを正規の量に調整する
	シリンダ・ピストンリングの摩耗	ピストンリングを交換する
エンジンの回転数が上昇しない(安定しない)	チョークが完全に開いていない	チョークレバーを調整する
	燃料の劣化	新しいガソリンと交換する。
	古い燃料を使っている	新しいガソリンと交換する。

原因が分からないときはお問い合わせ(ご相談)ください。

刃の摩耗・交換の目安

本製品は高速で回転する刃を使い作業する機械です。
刃が曲がったり欠損した状態で作業をすると
本体の振動や刃の飛び出し等重大な事故、故障の原因となります。

刃の点検は重大な事故、故障を防ぎ安全な作業をするためにも必要な作業です。
大きな石や木の根など固いものに刃があたり欠損や曲がりが生じた状態や
目に見えて摩耗した時など刃の交換の目安となります。
摩耗の場合は回転方向に対し反対側の刃が使える場合は
刃の向きを変えて作業がおこなえます。
欠損や曲がりが生じた場合は速やかに交換してください。

寒冷地での使用について

冬季は作業後必ず本機械に付着した泥や異物を取り除き
固い路面上（コンクリートやアスファルト等）に駐車してください。
付着物が凍結すると故障の原因となります。

凍結して運転不可能となった場合は、無理に動かさず
凍結箇所をお湯や溶剤で溶かすか、凍結が溶けるまで待ってから
運転作業をおこなってください。

（無理に動かした場合の故障については責任を負いかねますのでご注意ください）

お問い合わせ

- 輸入販売元 株式会社グレス
- 連絡先 gress@gress.click
- 所在地 千葉県市原市金剛地1479-2



LINEアカウント

- 公式LINEアカウント（アウトドアショップグレス）
右のQRコードを読み取って友だち登録してください。
画像や動画のやり取りをする場合はLINEを推奨致します。



弊社ホームページ

- 株式会社グレスホームページ（<https://www.gress.click/>）
取り扱い説明書がダウンロードできます。



YOUTUBE

- 株式会社グレスYOUTUBE
商品に関連した動画をご覧いただけます。



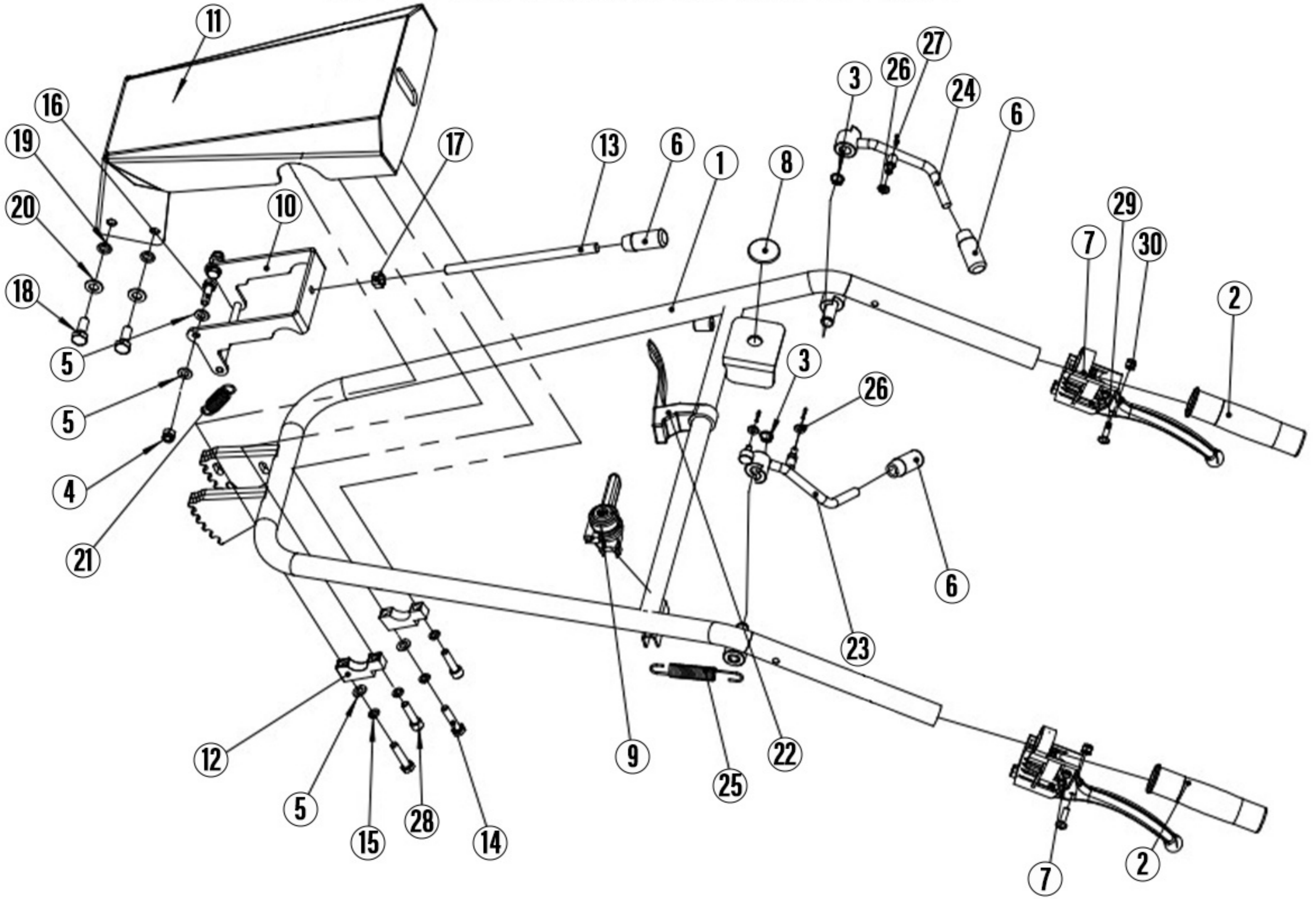
GRESS

株式会社グレス

部品一覧

ハンドルまわり

※ロットにより仕様が異なる場合があります。



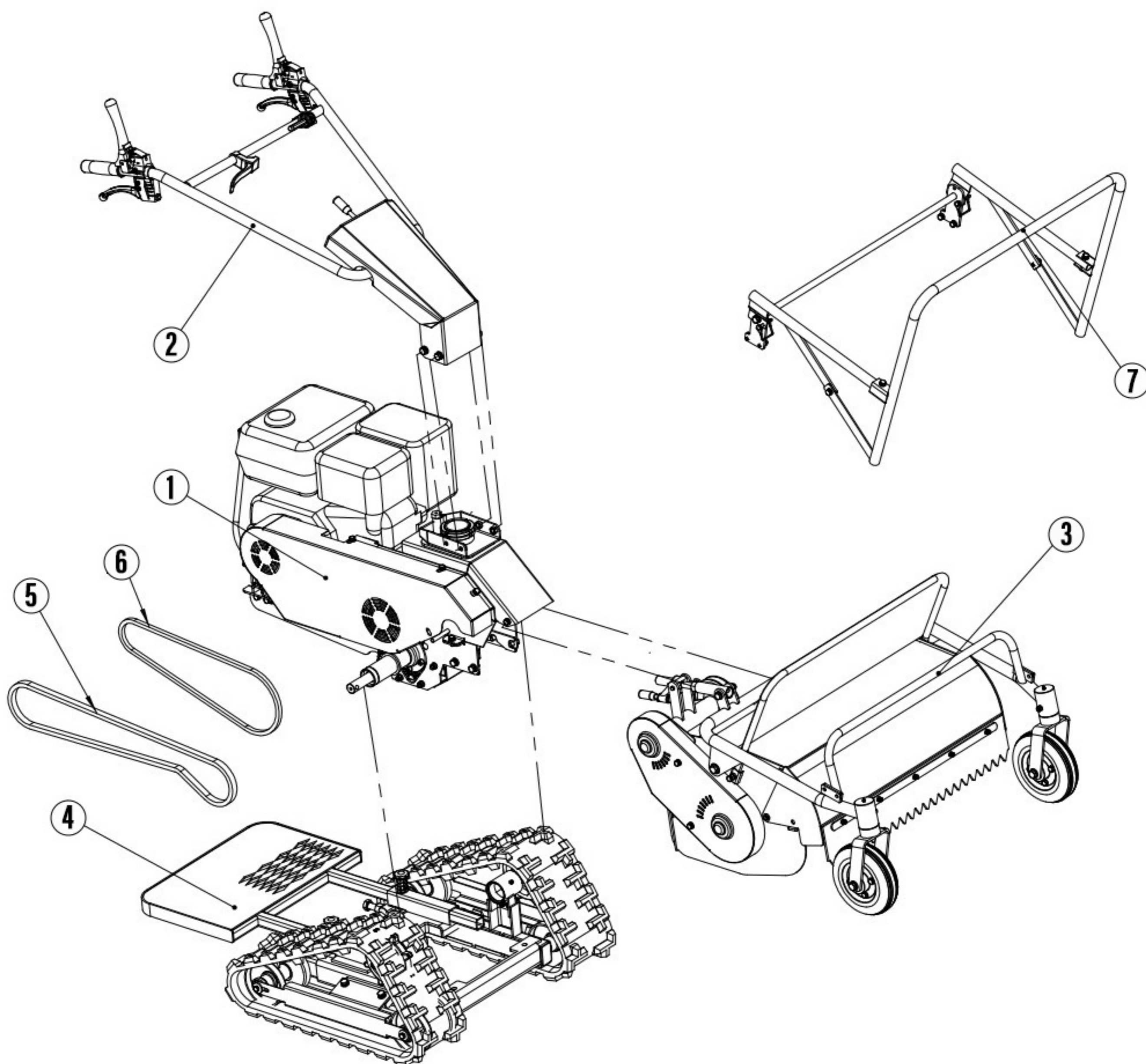
番号	型番	名称	個数 本数
1	HTC666.10.050A	ハンドル溶接	1
2	0301A.10.103	グリップ25	2
3	GB894.1-86	シャフト用サークリップ 13	2
4	GB/T889.1-2000	インレイロックナット M8	2
5	GB/T95-2002	平ワッシャー 8	6
6	0302B.10.122	レバーグリップ	3
7	0301C.10.001	ハンドルレバーアセンブリ	2
8	-	非常停止スイッチ	1
9	0301A.00.130	スロットルアセンブリ	1
10	HTC666.10.034	リミットロッド溶接	1
11	HTC666.10.035	ハンドルフロントカバー溶接	1
12	HTC666.10.122	ハンドルプレスブロック	2
13	-	高さ調整ハンドル	1
14	GB/T5783-2000	六角ボルト M8x40	2
15	GB/T93-1987	スプリングワッシャー 8	4
16	GB/T5783-2000	六角ボルト M8x25	2
17	GB/T6170-2000	六角ナット M10	1
18	GB/T5783-2016	六角ボルト M10x25	4
19	GB/T93-1987	スプリングワッシャー 10	4
20	GB/T95-2002	平ワッシャー 10	4

21	-	プラットフォームテンションスプリング	1
22	-	ブレーキハンドル	1
23	HTC666.10.200	シフトハンドル溶接1	1
24	HTC666.10.300	シフトハンドル溶接2	1
25	0301A.00.115	ロングテンションスプリング	1
26	GB/T95-2000	平ワッシャー 6x1.6	3
27	GB/T91-2000	割りピン 2x12	3
28	GB70.1-2000	穴付き六角ねじ M8x30	2
29	GB818-2000	十字穴付なべ頭ねじ M6x20	2
30	GB889.1-2000	六角ロックナット M6	2

部品一覧

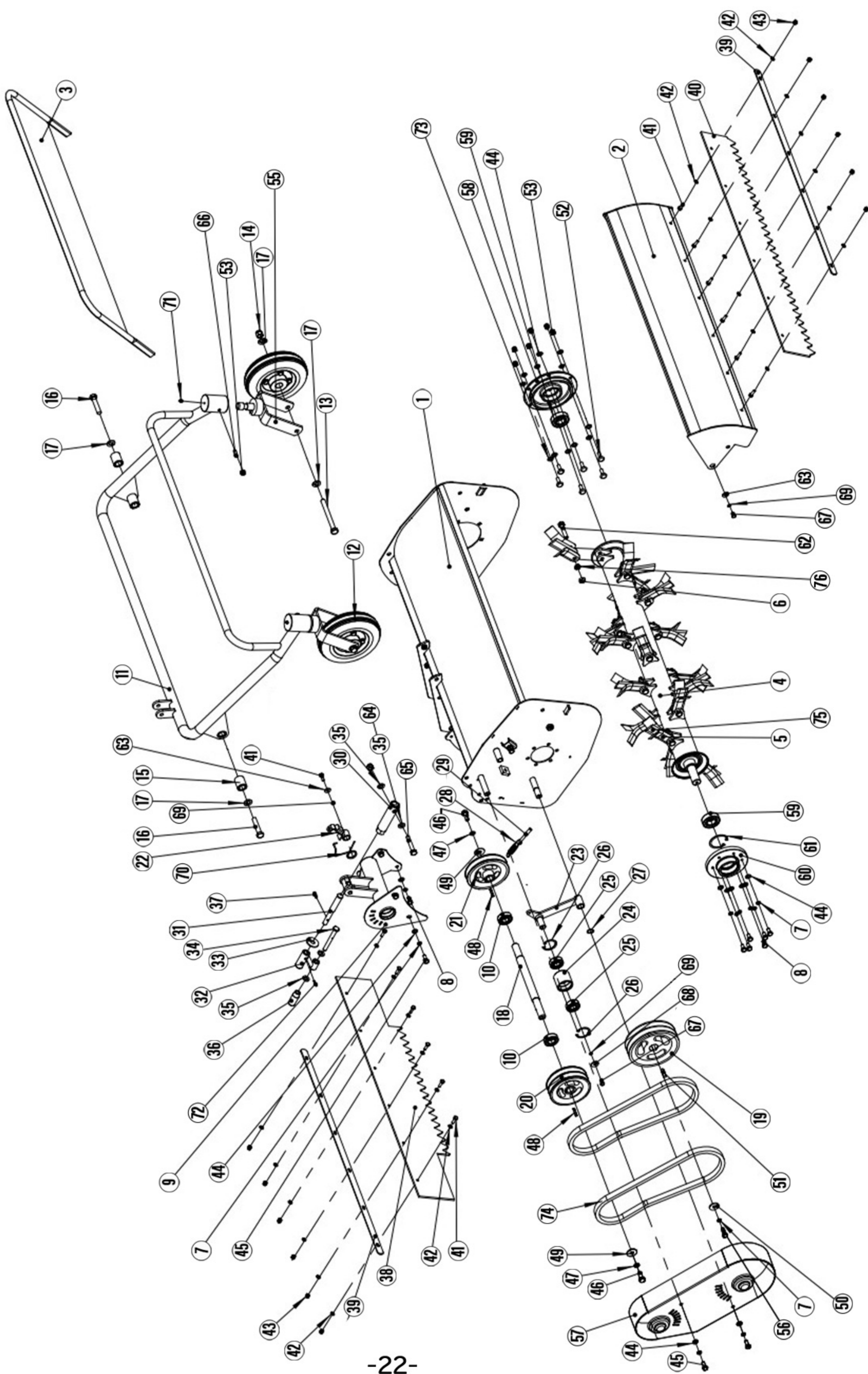
本体名称

※ロットにより仕様が異なる場合があります。



番号	型番	名称	個数・本数
1	HTC666.30.000	エンジンおよびギアボックス	1
2	HTC666.10.001	アームレストアセンブリ	1
3	HTC666.60.000	ブレードボックス	1
4	HTC666.40.000	クローラフレームアセンブリ	1
5	—	ベルト1 SB1610Le W1000	1
6	—	ベルト2 SB44 W1000	1
7	HTC666.80.000	高さ調整フレーム	1

※ロットにより仕様が異なる場合があります。



番号	型番	名称	個数・本数
1	HTC860.60.020	ナイフボックス溶接	1
2	HTC860.60.010	フロントシングル溶接	1
3	HTC860.60.060	ベベル溶接	1
4	HTC860.60.050-3	ブレードシャフト溶接	1
5	HTC666.60.064	Y字刃	44
6	GB/T6185.1-2016	六角ロックナット M10	22
7	GB/T93-1987	スプリングワッシャー 8	13
8	GB/T5783-2000	六角ボルト M8x16	9
9	HTC860.60.070	トランスミッションシャフト溶接	1
10	GB/T276-2013	ベアリング 6004-2Z	2
11	HTC860.60.040	調整パイプ溶接	1
12	HTC666.60.085	タイヤ組み立て	2
13	GB/T5782-2000	六角ボルト M12x120	2
14	GB/T889.1-2000	六角ロックナット M12	2
15	HTC666.60.047	回転スリーブ	2
16	GB/T5782-2016	六角ボルト M12x60	2
17	GB/T95-2002	平ワッシャー 12	6
18	HTC860.60.059	トランスミッションシャフト	1
19	HTC860.60.083	ナイフシャフトプーリー	1
20	HTC860.60.082-2	駆動プーリー2	1
21	HTC666.60.082-1	駆動プーリー1	1
22	HTC666.60.084	ブレーキパッドアセンブリ	1
23	HTC860.60.110	トランスミッションテンション溶接	1
24	HTC860.60.115	トランスミッションテンショナー	1
25	GB/T276-2013	ベアリング 6203-2Z	2
26	GB/T893-2017	穴用止め輪 40	2
27	GB/T894-2017	シャフト用サークリップ 16	1
28	-	プラットフォームテンションスプリング 4x2	1
29	GB/T798-1988	スイングボルト M8x60	1
30	HTC666.60.130	高さ調整溶接	1
31	HTC666.60.132	高さ調整レバー	1
32	HTC666.60.140	調整ハンドル溶接	1
33	GB/T96.1-2002	ワッシャー (大) 12	1
34	GB/T882-2008	ピン 10x90	1
35	GB/T95-2002	平ワッシャー 10x2	4
36	0302B.10.122	ハイギアグリップ、ローギアグリップ	1
37	GB/T879.2-2000	弾性円筒ピン 5x20	1
38	HTC860.60.144	ゴム製テールゲート	1

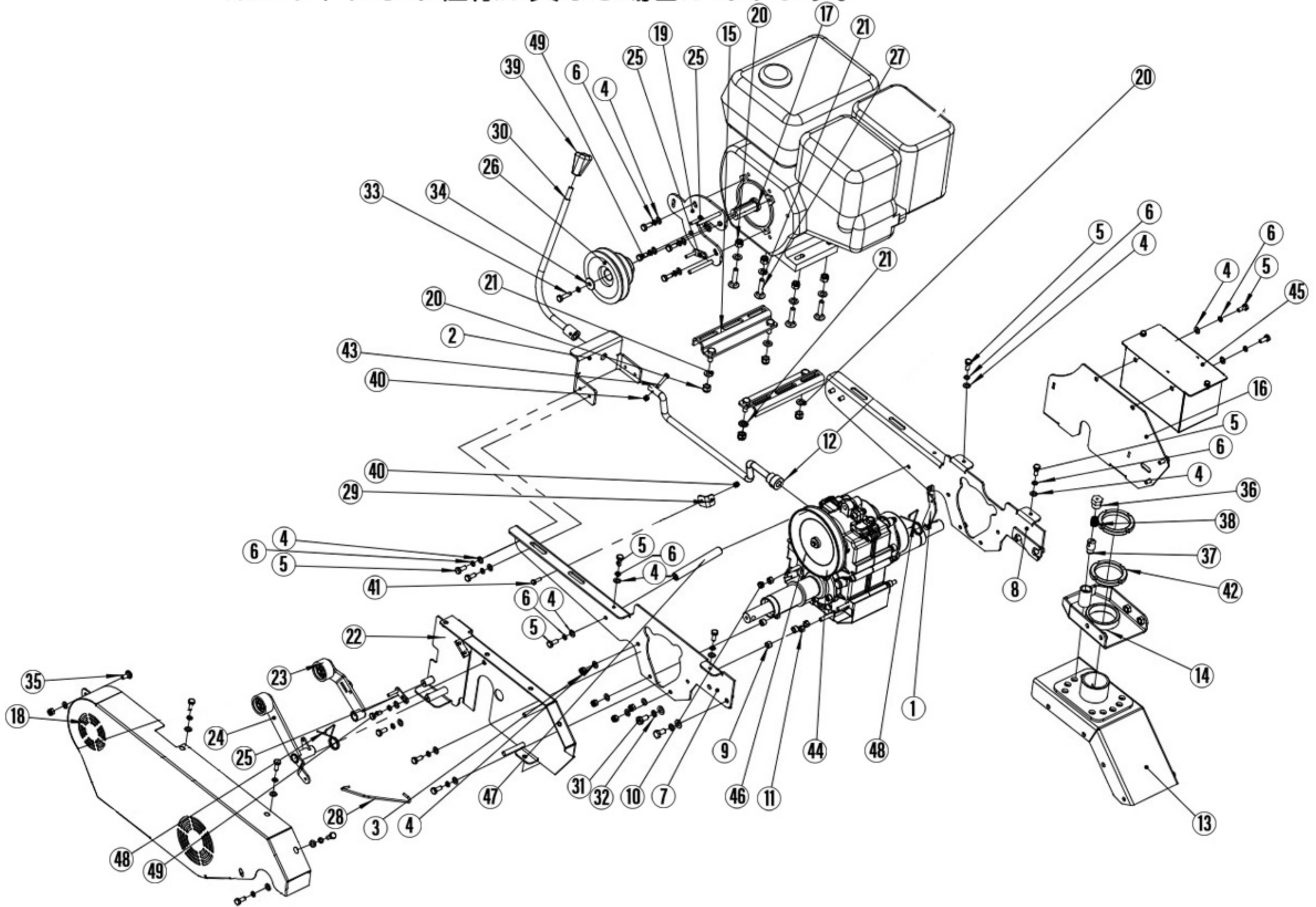
39	HTC860.60.014	ゴムストリップ	2
40	HTC860.60.145	ゴム製フロントベゼル	1
41	GB/T5783-2000	六角ボルト 13	13
42	GB/T95-2002	平ワッシャー 24	24
43	GB/T889.1-2000	六角ロックナット M6	12
44	GB/T95-2002	平ワッシャー 8	18
45	GB/T5783-2000	六角ボルト M8x20	8
46	GB/T75783-2000	六角ボルト M10x25	2
47	GB/T93-1987	スプリングワッシャー 10	2
48	GB/T1096-2003	フラットキー 5x28	2
49	GB/T96.1-2002	ワッシャー (大) 10	2
50	GB/T5287-2002	ワッシャー (特大) 8x3	1
51	GB/T1096-2003	フラットキー 8x28	1
52	GB/T794-93	スクエアネックボルト M8x25	6
53	GB/T889.1-2000	六角ロックナット M8	8
54	GB/T6170-2000	六角ナット M8	2
55	HTC666.60.100	ホイールフレーム溶接	2
56	GB/T5783-2000	六角ボルト M8x25	1
57	HTC860.60.090	ナイフボックスベルトカバー溶接	1
58	HTC666.60.117	ベアリングキャップ	1
59	GB/T276-94	ベアリング 6205-2Z	2
60	HTC666.60.058	ベアリングシート	1
61	GB893.1-86	穴用止め輪 52	1
62	GB/T5782-2000	六角ボルト M10x50	22
63	GB/T96.2-2002	ワッシャー (大) 6	3
64	GB/T889.1-2000	六角ロックナット M10	1
65	GB/T5782-2000	六角ボルト M10x60	1
66	GB/T79-2000	スクエアネックボルト M8x25	2
67	GB/T5783-2000	六角ボルト M6x12	3
68	GB/T5287-2002	特大ワッシャー 6	1
69	GB/T93-1987	スプリングワッシャー 6	4
70	HTC666.60.116A	ブレーキトーションスプリング	1
71	JB/T7940.1-1995	ストレートオイルカップ	2
72	GB/T879.1-2000	弾性円筒ピン 3x20	1
73	HTC666.60.147	スクエアネックボルトワッシャー 3x20	6
74	-	SB38.5 W1000	2
75	HTC860.60.063	ストレート刃	22
76	GB/T6172.1-2000	六角ナット M10	22

部品一覧

吸気系・排気系

エンジン・電装系まわり

※ロットにより仕様が異なる場合があります。



番号	型番	名称	個数・本数
1	HTC666.37.203	ブレーキプルプレート	1
2	HTC6660.30.023	フレーム背面パネル	1
3	GB/T889.1-2000	六角ロックナット M8	9
4	GB/T95-2002	平ワッシャー 8x1.6	27
5	GB/T5781-2000	六角ボルト M8x20	22
6	GB/T93-1987	スプリングワッシャー 8x2.1	28
7	HTC860.30.010	右側フレームプレート溶接	1
8	HTC860.30.010L	左側フレームプレート溶接	1
9	HTC666.37.102	フレームスペーサー-1	6
10	HTC666.37.103	フレームスペーサー-2	2
11	GB/T6170-2000	六角ナット M8	8
12	HTC666.37.010	シフトレバー溶接	1
13	HTC666.20.010	下部ターンテーブル溶接	1
14	HTC666.10.040	上部ターンテーブル溶接	1
15	HTC666.30.050	エンジンマウントベース溶接	2
16	HTC666.20.040	ターンテーブル下部支持板溶接	1
17	LONGXIN-9HP	エンジン	1
18	HTC666.00.010	ベルトカバー溶接	1

19	HTC666.20.050	ベルトカバー固定板溶接	1
20	GB/T889.1-2000	六角ロックナット M10	8
21	GB/T95-2002	平ワッシャー 10	12
22	HTC666.20.030II	ベルトカバー内板溶接	1
23	HTC666.60.081-000	トラベルクラッチプルプレートアセンブリ	1
24	HTC666.60.080-000	フリングナイフテンショナーアセンブリ	1
25	HTC666.20.060	ベルトシャフト溶接	3
26	HTC860.00.105	ダブルBBプーリー	1
27	GB/T14-1988	大型丸頭角首ボルト M10x45	4
28	HTC666.60.146	ブレーキプルロッド	1
29	HTC666.20.111	プルワイヤー回転固定板	1
30	HTC666.37.020	スピードシフトハンドル溶接	1
31	GB/T5783-2000	六角ボルト M10x20	4
32	GB/T93-1987	スプリングワッシャー 10	4
33	GB/T5783-2000	六角ボルト M8x30	1
34	GB/T5287-2002	特大ワッシャー 8x3	1
35	GB/T794-93	スクエアネックボルト M8x35	1
36	-	スクリュープラグキャップ	1
37	-	位置決めピン	1
38	-	位置決めピンスプリング	1
39	0301A.00.130	ハンドル	1
40	GB/T889.1-2000	六角ロックナット M6	2
41	GB/T5783-2000	六角ボルト M6x20	1
42	GB/T810-1988	小丸ナット M6x2	2
43	GB/T5783-2000	六角ボルト M6x35	1
44	HTC666.37.000	ベルトボックスアセンブリ	1
45	HTC666.50.020.00	バッテリーボックスアセンブリ	1
46	0301A.37.028	PKラウンド	1
47	HTC666.30.024	フレームプレート支持軸	1
48	HTC666.60.116	ブレーキねじりバネ	2
49	GB/T5783-2000	六角ボルト M8x25	5